

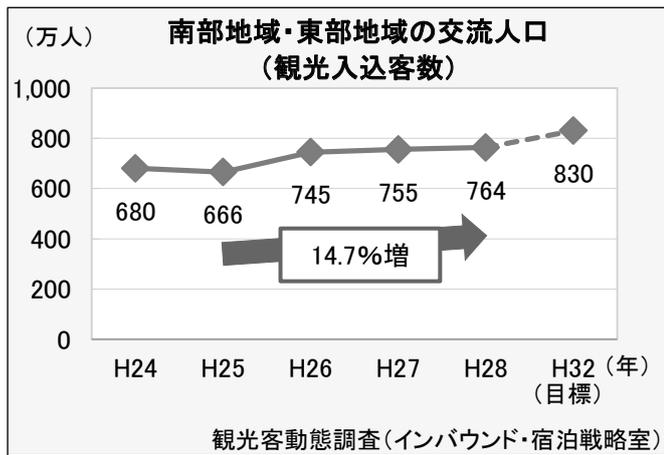
# Ⅲ 南部地域・東部地域の振興

## 目指す姿

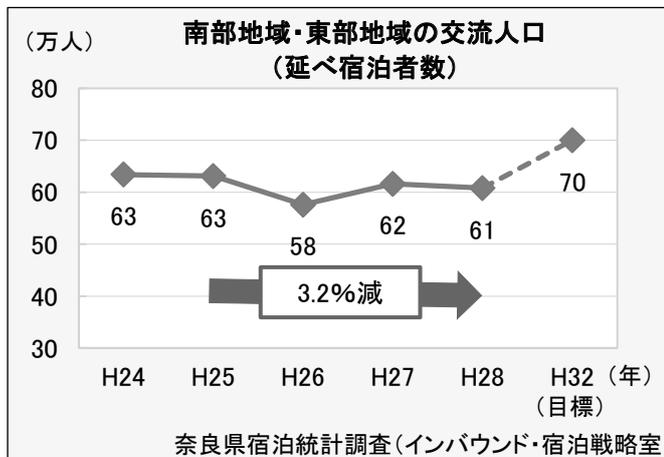
魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育等の充実、災害への備え等を進め、南部地域・東部地域を「頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。

主担当部局(長)名  
南部東部振興監 前阪 祥弘

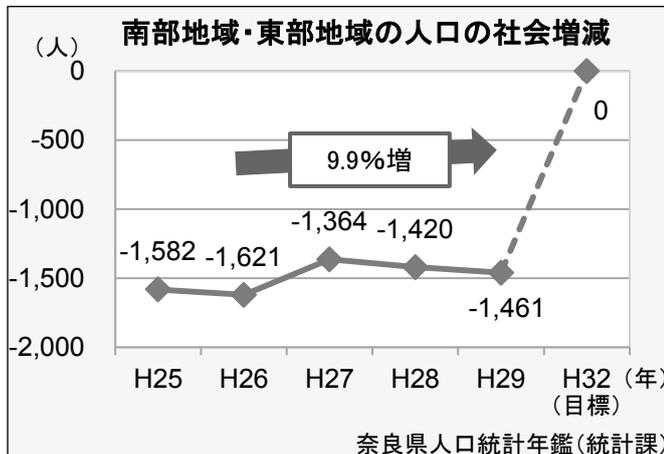
## 1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成32年までに、南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)を830万人にすることを目指します。(H25年:666万人)
成果	観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組んだことにより、平成28年の南部地域・東部地域の交流人口(観光入込客数)は764万人と、平成27年より増加しました。

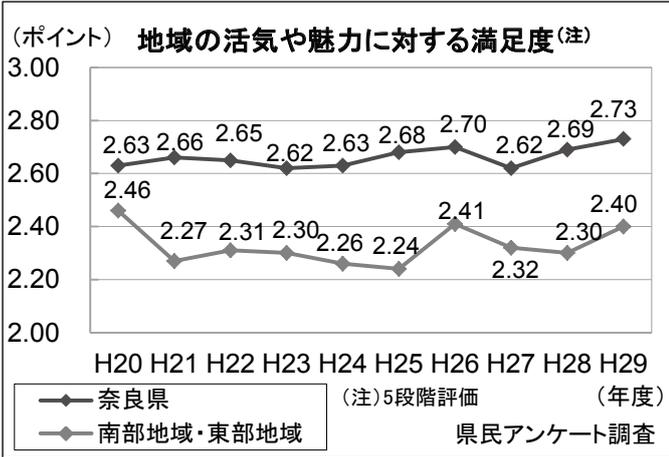


目標	平成32年までに、南部地域・東部地域の交流人口(延べ宿泊者数)を70万人にすることを目指します。(H25年:63万人)
成果	特色ある観光基盤の整備を推進し、オフシーズンのイベント開催やおもてなしの向上などに取り組んだものの、平成28年の南部地域・東部地域の交流人口(延べ宿泊客数)は61万人と、平成27年より減少しました。

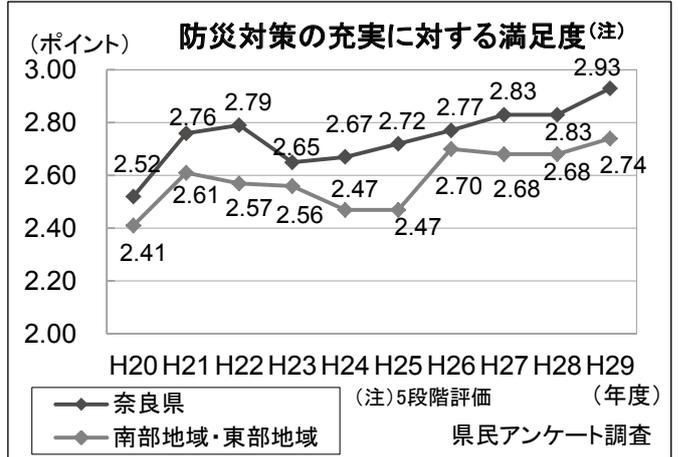


目標	平成32年までに、南部地域・東部地域の人口の社会増減をプラスにすることを目指します。(H26年:約マイナス1,600人)
成果	二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくりと拠点整備、また、移住者の働く場の確保に取り組んだものの、平成29年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は1,461人の減と、平成28年より社会減が増えました。

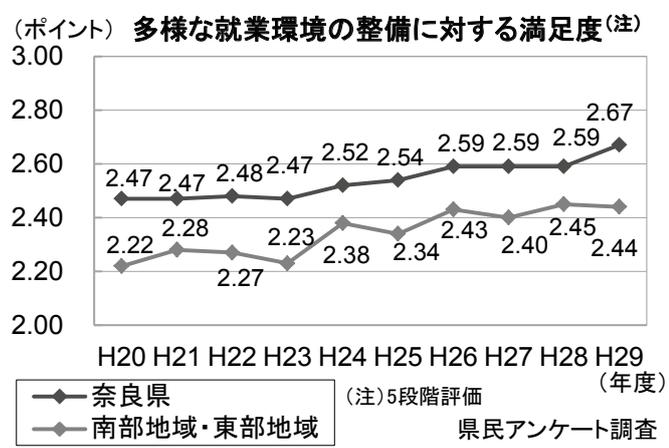
## 2. 現状分析



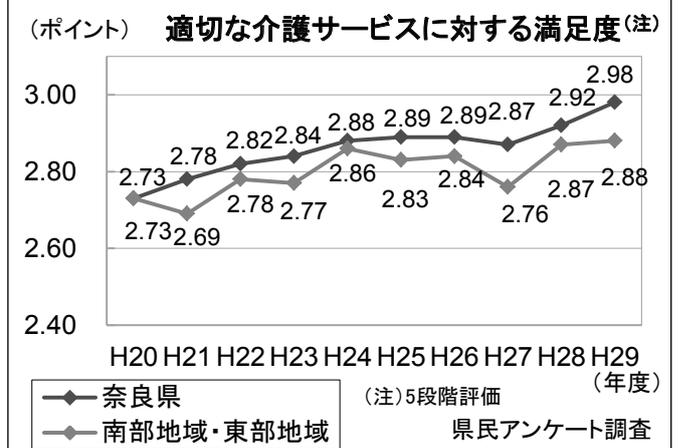
地域の活気や魅力に対する満足度は、平成26年度をピークに、以降はほぼ横ばいです。(→戦略1)



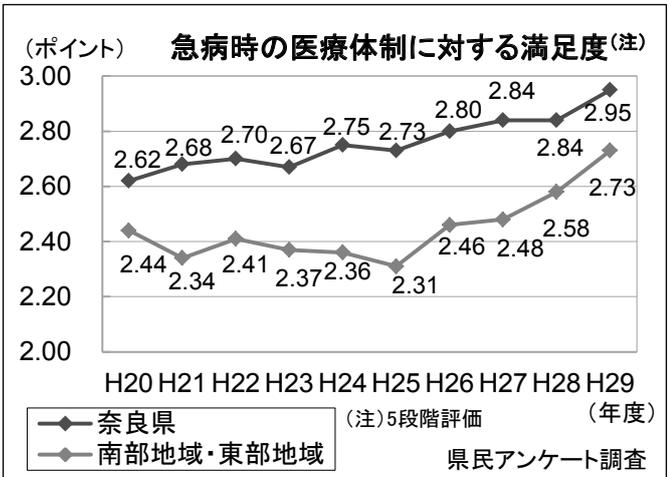
災害に強いインフラづくりの推進等により、防災対策の充実に対する満足度は上がっています。(→戦略2)



雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援等により、多様な就業環境の整備に対する満足度が上がっています。(→戦略2)



地域で暮らし続けるための仕組みづくりを進めていること等により、適切な介護サービスに対する満足度は上がっています。(→戦略2)



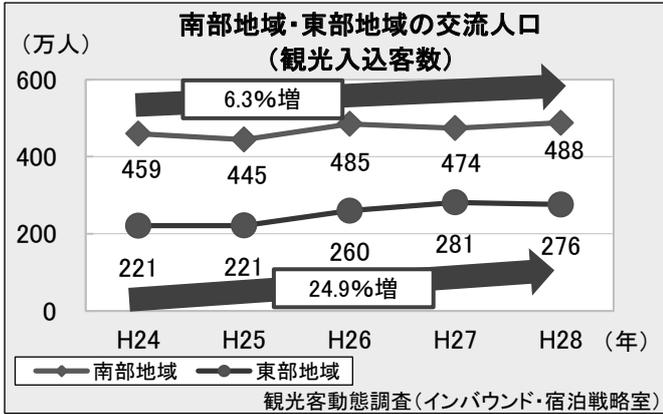
地域医療提供体制の整備が進みつつあること等により、急病時の医療体制に対する満足度は上がっています。(→戦略2)

### 3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課(長)名 南部東部振興課長 元田 清士

戦略目標	①特色ある観光基盤の整備を推進し、南部地域・東部地域の魅力を向上させます。 ②観光客数を増やすとともに南部地域・東部地域のファンを増やすため、情報発信を強化します。(H29年度までに、移住ホームページ「奈良に暮らす」アクセス数を550,000件にします。(H26年度: 492,453件)) ③観光客数を増やすため、オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上等を進めます。(H32年度までに、新たなイベントに対する支援を20件にします。(H28年度支援を開始))
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



目	特色ある観光基盤の整備を推進し、南部地域・東部地域の魅力を向上させます。
成果	観光誘客、情報発信に取り組んでいますが、平成28年の南部地域・東部地域における交流人口(観光入込客数)は、南部地域488万人、東部地域276万人、合計764万人と、平成27年より南部地域では増加し、東部地域では減少しました。

#### 主な取組指標等

観光資源となる地域資源の発見と創出(①)		
南部・東部振興プロジェクト検討事業件数		
3件 (H26年度)	➡	3件 (H29年度)
増減なし		

南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信(②)		
移住サイト「奈良に暮らす」アクセス件数		
492,453件 (H26年度)	➡	480,724件 (H29年度)
2.4%		

実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり(③)		
地域と協働で開催しているイベント参加者数		
125人 (H26年度)	➡	1,915人 (H29年度)
15.3倍		

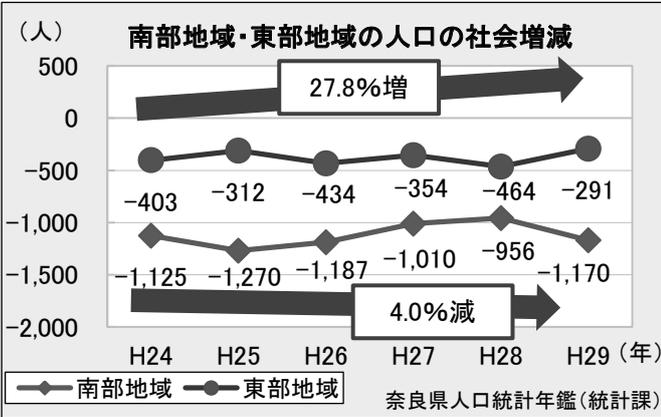
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり(③)		
「うだ・アニマルパーク」への入場者数		
214,910人 (H26年度)	➡	223,480人 (H29年度)
4.0%		

#### 数値で表せない成果

平成29年8月に、企業立地の促進や観光振興等の地域経済の活性化に大きく寄与する京奈和自動車道大和御所道路[御所南IC～五條北IC](延長7.3km)が開通しました。(①)

平成29年6月～9月、12月～平成30年3月に、近畿日本鉄道と連携し、奈良県奥大和地域の魅力を発信する観光ツアーを4町村で実施しました。(平成30年6月～9月に2村で実施)(①)

戦略目標	①働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致等を進めます。 ②健康・医療・福祉・介護の充実等を進め、地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。 ③災害による死者をなくす・人命を守ることを最大の目標に、できる限り被害を減少させます。 ④南部地域・東部地域への二地域居住・移住者を増加させます。(H27年度まで、地域受入協議会に対する支援を30件にします。(H27年度:4件))(H32年度まで、二地域居住や移住を促進するための拠点施設整備への支援を25件にします。(H26年度:2件))
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



目標	働く場所を増やすため、農林業の振興や企業誘致等を進めます。
成果	林業振興や交通アクセスの改善等に取り組んでいるものの、平成29年の南部地域・東部地域の人口の社会増減は、南部地域で1,170人減、東部地域で291人減と、平成28年より減少数が南部地域では増加し、東部地域では減少しました。

主な取組指標等

働く場所づくり(①)		
「奈良の柿」販売額		
3,665百万円 (H26年度)	▲ 0.9%	3,699百万円 (H29年度)

働く場所づくり(①)		
県産材利用住宅への助成件数		
70件 (H26年度)	▲ 3.2倍	226件 (H29年度)

暮らしやすい地域づくり(②)		
医師確保修学資金貸与者数		
79人 (H24年度)	▲ 26.6%	100人 (H29年度)

災害に強いインフラの整備(③)		
完了宣言箇所の供用箇所数 (南部地域・東部地域)[累計]		
3カ所 (H26年度)	▲ 20カ所	23カ所 (H29年度)

災害に強いインフラの整備(③)		
先行的保全施設(避難所や要配慮者利用施設)への土砂災害対策着手率		
68% (H26年度)	▲ 21ポイント	89% (H29年度)

移住の推進(④)		
空き家バンク設置市町村数		
12市町村 (H26年度)	▲ 25.0%	15市町村 (H29年度)

移住の推進(④)		
ワンストップ窓口設置市町村数		
19市町村 (H26年度)	→ 増減なし	19市町村 (H29年度)

数値で表せない成果

平成30年3月に、県南部地域の安全・安心を支える国道168号辻堂バイパス(延長4.1km)が全線開通しました。(③)

#### 4. 平成31年度に向けた課題の明確化

＜政策目標達成に向けた主な進捗状況＞  
観光資源となる地域資源の発見・創出や情報の発信、また、訪れてもらうための地域の特色を活かしたイベント開催等に取り組んだことにより、平成28年の南部地域・東部地域の交流人口（観光入込客数）は764万人と、平成27年より増加しました。

＜戦略目標達成に向けた主な進捗状況＞  
観光誘客、情報発信に取り組んでいますが、平成28年の南部地域・東部地域における交流人口（観光入込客数）は、南部地域488万人、東部地域276万人、合計764万人と、平成27年より南部地域では増加し、東部地域では減少しました。

＜奈良県の持っている強み＞  
1 豊かな自然環境、おいしい空気や水  
2 豊かな森林資源、吉野材ブランド  
3 地域の住民の絆が強い  
4 世界遺産をはじめとする豊富な歴史・観光資源  
（「紀伊山地の霊場と参詣道」H16年7月登録）  
（「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」H19年1月暫定リスト登録）  
5 京奈和自動車道の供用区間延伸  
6 情報通信基盤の充実  
7 南部・東部の魅力浸透等による観光入込客数の回復

＜奈良県の抱えている弱み＞  
8 産業用地の不足  
9 人口減少と高齢化による活力低下  
10 若者の就業の場の不足  
11 農林業等地域産業の衰退  
12 医師の確保が困難  
13 路線バスの休廃止・減便の進行  
14 日常生活サービスの脆弱化

＜奈良県への追い風＞  
a 国の経済政策による景気回復傾向  
b 国による国土強靱化の推進  
c 「住みたい」「住み続けたい」意識の高さ  
d 多様なライフスタイル指向の高まり（ニーズが高いもの）  
・医療・介護等高齢者福祉への支援  
・若者の雇用の場の創出  
・林業等地域産業の振興  
・バス交通等生活維持のための対策  
e 国による地方創生の動き  
f 京奈和自動車道大和北道路及び国道168号新天辻工区の平成30年度新規事業化が決定。

＜奈良県への向かい風＞  
g 人口減少、労働人口の減少  
h 企業の生産拠点の海外移転  
i 食品や木材の輸入品の増加

＜強みで追い風を活かす課題＞  
〔重要課題〕観光交流の促進（地域の魅力の発信）（1,4,5,6,7,a,c,e）

＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞  
〔重要課題〕移住の推進（9,10,11,c）  
〔重要課題〕医療・高齢者支援の充実（12,13,14,c,d）  
・紀伊半島アンカールートの早期整備（8,14,b,c,f）  
・公共交通の確保（13,c,d）  
〔重要課題〕住民が安心して暮らせる基盤整備（13,14,c,d）

＜強みで向かい風を克服する課題＞  
〔重要課題〕地域資源の活用（地域の魅力の発見、創造）（1,2,3,4,7,g,i）

＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞  
〔重要課題〕企業立地の促進（8,g,h）  
〔重要課題〕農林業等地域産業の振興（11,g,i）

## 5. 平成28年度の評価を踏まえ、平成30年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
移住の推進(戦略2)	雇用を創出するため、民間企業や市町村とも連携し、地域の特産物、自然環境等の豊かな資源を活かしたビジネスの創造等、地域の新たな仕事づくりや既存の生業の継承にも取り組み、移住・定住を促進することとしました。

## 6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域・東部地域活性化イベントを開催します。</li> <li>・旅行雑誌や旅行サイト等の多様な広報媒体を活用し首都圏や関西圏等に向けた、奥大和の情報発信を積極的に行います。</li> <li>・地域資源を活かしたスポーツや各種イベントを開催します。</li> <li>・「うだ・アニマルパーク」を拠点とした取組を推進します。</li> </ul>
弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
移住の推進(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村での取組(広報、イベント、ワンストップ窓口、空き家バンク)を支援します。</li> <li>・移住・二地域居住のために必要な拠点施設を調査し、整備方針について検討します。</li> <li>・地域の特産物、自然環境等豊かな資源を活かしたビジネスの創造など地域の新たな仕事づくりを促進します。</li> <li>・移住者・二地域居住者のための起業や受入体制整備を支援します。</li> </ul>
医療・高齢者支援の充実(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等が地域で安心して住み続けることができるようにするため、地域包括ケアシステムの構築を推進し、コミュニティナース等の導入を推進します。</li> <li>・救急医療を中心に担う病院(南奈良総合医療センター)と、慢性期を中心に担う病院(吉野病院、五條病院)が連携し、安定的な医療提供体制を確立します。</li> </ul>
住民が安心して暮らせる基盤整備(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路防災対策及び土砂災害対策を推進します。</li> <li>・市町村の住民避難対策の支援等、災害時の安心・安全を確保します。</li> <li>・県内外からの支援を受け入れて、迅速に対応できる広域防災拠点の整備に向けた取組を推進します。</li> </ul>
強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
地域資源の活用(地域の魅力の発見、創造)(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食」と「泊」を売り出すオーベルジュ等の整備を促進し、それらのネットワーク化を推進します。</li> <li>・奈良県植栽計画に基づき、南部地域・東部地域の自然環境や森林資源を生かした「庭」を整備します。</li> <li>・地域資源を活かしたスポーツや各種イベント等を開催します。</li> <li>・南部地域・東部地域の自然環境等を活かしたスポーツイベントや特色を活かしたイベントの開催を支援します。</li> </ul>
弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
企業立地の促進(戦略2)	<p>京奈和自動車道御所IC周辺に新たな産業用地を造成するほか、五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また郡山下ツ道ジャンクション供用開始により利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺等、南部地域・東部地域への企業立地を促進します。</p>
農林業等地域産業の振興(戦略2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「奥大和豊かな暮らし提案店舗」の展開や家具職人の育成等、地域産業を活性化します。</li> <li>・柿等の農産物等のブランド化・生産拡大による流通販売の強化を進めます。</li> <li>・A・B・C材ごとに受け入れる製材・加工施設の確保と、それぞれの流通体制の構築を図ります。</li> <li>・鳥獣被害を軽減し、捕獲野生獣の有効活用を図ります。</li> <li>・奈良県にゆかりの深い漢方について、生薬の生産拡大や関連する商品・サービスの創出等を総合的に推進します。</li> </ul>